

「地産・地消」 消費者交流・第1弾!!

安全・安定モデル地域交流会の開催

近年、消費者の食の安全・安心に関するニーズが強まっております。このため、畜産物においても生産過程を明確にするとともに、流通・消費に至るまでの正確な情報伝達を行い、消費の推進を図る必要性があります。

そこで、本協会では、消費者・学校関係者などと信頼関係を深め、畜産農家と消費者間での相互理解を図る体制を構築することを目的として下記の2地域で交流会を開催いたしました。

11月17日開催の妻有地域（十日町・中魚沼郡）交流会では48名の出席があり、妻有ポークグループ代表・澤口茂利氏によるグループの取り組み等を紹介した後、活発な意見交換がなされました。

また、11月27日開催の白根地域交流会では、しろねポーク生産協議会・小田信雄氏より協議会の経緯・取り組み等が紹介されました。

いずれの交流会でも、生産者が様々な事を勉強し、安全・安心な豚肉を生産するよう努力していること、特にHACCP方式の考え方に対応した種々の取り組みが意欲的に実践されていることを消費者の皆様へ理解していただけたと実感しております。

～以下、消費者アンケートより抜粋～

- ・ 消費者は安全・安心・安定供給を望んでいます。生産者の熱意を感じ、改めて食の安全性の大切さを実感しました。
- ・ 安全、安心、美味しく食べられるシステムが詳細に分かりました。
- ・ 多くの消費者（特に若い世代）に、情報をしっかりと伝えて、国産豚肉をPRすべきだと思います。
- ・ 意見交換では、大勢の方の意見を聞くことができてとても参考になりました。



妻有地域での交流会

「にいがた和牛」ブランド誕生!!

「新潟の豊かな自然が育んだ上質の味わい」をキャッチコピーとする新潟県産和牛統一ブランドの「にいがた和牛」の名称披露会が10月4日、新潟市の新潟ふるさと村で開催されました。当日はふれあい畜産フェスタも同時開催され多くの入場者でにぎわいました。

また、10月16日には東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて披露会を開催し、東京食肉市場・買参人等の関係者80名を前に協議会会長の平山征夫県知事が挨拶を行いました。翌日は「にいがた和牛」の初セリが行われ平均価格は1頭102万8千円、枝肉1キロ2,220円と高水準での取引が成立しました。



「にいがた和牛」ブランド披露会場で平山県知事挨拶

編集後記

あっと言う間に師走の声が聞かれる時期が到来致しました。もうすぐ、新年を迎えるとなると何かと慌ただしさを感じます。振り返ってみると今年は冷夏により米の不作や農作物の価格低迷等暗いニュースが農業界を駆け巡りました。家畜にとっては、冷夏は夏期の高湿障害等の疾病発生もなくプラスとなりましたが、価格面では豚価や鶏卵価格は需要が伸びず低迷を続けております。このような中で明るい話題としては、「にいがた和牛」が9月にデビューし県内や大消費地である東京都において平山県知事の出席のもと披露会が開催されたことです。また「にいがた和牛」に関連したビッグニュースとして10月24日に開催された国内最大規模の全国肉用牛枝肉共励会において黒川村の河内松雄氏が最高位の名誉賞を受賞されたところです。価格も高値で取引され嬉しい限りでした。12月1日からは「牛トレサ法」が施行され、消費者に安全と安心を担保する情報提供が義務付けられましたのでBSE問題発生以来の食肉にまつわる不信感を振り払うべき、安全性に対するの研鑽が必要だと思う今日この頃であります。（花田記）